

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

BRS メガソーラープロジェクト bonds 信託1 信託受益権及び信託 ABL

【クレジット・モニター指定】 【変更】

信託受益権格付 BBB → #BBB-/ネガティブ
ABL 格付 BBB → #BBB-/ネガティブ

■ 格付事由

本件は二本松太陽光発電合同会社により、福島県二本松市で行われているメガソーラー事業を対象とするプロジェクトファイナンスである。

1. 本プロジェクトの現状

JCRは25年8月28日付で、サイト一部エリアにおける地滑りリスクにかかるコメントを行い、その影響につき注視をしてきた。是正工事の具体的な内容を特定するためボーリング調査を実施した結果、広範な是正工事が必要となる可能性が高いことが判明した。本件事案は擁壁工事における施工不良が原因であり、是正工事の費用は未確定だが多額となることを見込まれる。一方、関係者間での責任分担が定まっておらず、是正工事に必要となる資金を本プロジェクトは受領できていない。本プロジェクトの手元現金や将来キャッシュフローで是正工事の費用を捻出できないと見込まれるうえ、かかる施工不良に起因する保険事故は保険金の支払い対象とはならない可能性が高い。

2. 発電量実績の分析

本プロジェクトの25年2月から26年1月の発電量実績（直近12ヵ月平均）は、出力制御や盗難ならびに降雪の影響などからスポンサーによる当初計画値を下回った。パフォーマンス・レシオの実績も、かかる要因からJCRの当初想定と比べ下振れている。出力制御の頻度やこれに起因する売電損失は増加傾向にあるため、JCRはかかる動向を注視していく。なお、25年1月に発生した一部ケーブルの盗難被害については、復旧工事が完了しており、その後同様の被害は発生していない。

3. 格付評価

キャッシュフロー創出力は一定の水準を維持しているものの、実績は想定を下回って推移している。これに加え、今般発覚した施工不良に起因する地滑りリスクは、債務償還能力の確実性に大きな影響を及ぼす可能性が高いとJCRはみている。是正工事の実施に向けた動きがみられることから「#BBB-/ネガティブ」までの格下げに留めるものの、その費用や時期ならびに規模などは明らかではない。是正工事の実施が速やかになされない場合はさらなる格下げの可能性もあることから、JCRは引き続き本件の影響度ならびに対処状況を注視していく。

（担当） 菅生 大介・清水 達也

■ 格付対象

【クレジット・モニター指定】 【変更】

対象	発行額	信託期間満了日	クーポンタイプ	格付
信託受益権	1,400,000,000円	2040年11月30日	固定	#BBB-/ネガティブ
信託 ABL	3,300,000,000円	2040年11月30日	固定	#BBB-/ネガティブ

<発行の概要に関する情報>

信託設定日	2022年3月29日
-------	------------

受益権譲渡/ABL 実行日	2022年3月29日
償還/返済方法	スケジュール償還/返済
流動性・信用補完措置	なし ※裏付となる貸付債権における流動性補完・信用補完として、現金準備・優先劣後構造

＜ストラクチャー、関係者に関する情報＞

委託者	SMBC 日興証券株式会社
受託者	三菱 HC キャピタル信託株式会社
メガソーラープロジェクト運営会社	二本松太陽光発電合同会社
アセットマネージャー	Amp 株式会社
アレンジャー	SMBC 日興証券株式会社

＜裏付資産に関する情報＞

裏付資産の概要	メガソーラープロジェクト運営会社への貸付債権
---------	------------------------

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2026年3月26日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：湊岡 由典
主任格付アナリスト：菅生 大介
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準については、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法（格付方法）の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「プロジェクトファイナンス」（2012年8月28日）の信用格付の方法として掲載している。回収金口座や倒産隔離など他の付随的な論点についても上記のページで格付方法を開示している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 二本松太陽光発電合同会社
（アレンジャー） SMBC 日興証券株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付対象商品および裏付資産に関する、格付関係者から入手した証券化関連契約書類
なお、上記については格付関係者が証券化関連契約書類上で情報の正確性に関する表明保証を行っている。
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、いずれかの格付関係者による表明保証もしくは対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手



数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル